

会 議 録

1 会議名

令和元年度第4回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

地域活動支援事業について

3 開催日時

令和元年6月11日（火）午後6時00分から午後7時25分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 青山恭造（会長）、竹内明美（副会長）、増田和昭（副会長）、磯田一裕、伊藤邦雄、今川芳夫、河野健一、久保田幸正、小林克美、坂井芳美、田中美佳、田村雅春、中澤武志、町屋隆之、丸山朝安、水澤敏夫（欠席2名）

- ・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、霜越臨時職員

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青山恭造会長】

- ・挨拶
 - ・会議録の確認：水澤委員、磯田委員に依頼
- 議題【協議事項】地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・資料No.1 「令和元年度地域活動支援事業【直江津区】採点総括表」、
資料No.2 「令和元年度地域活動支援事業 その他特記事項等一覧」に基づき説明

【青山恭造会長】

それではNo.1 から協議していきたいと思う。

「No.1 クリーンナップ上越 i n 五智事業」についてはどうか。

【町屋委員】

特記事項を文書でお伝えする必要はないが、内容は事務局より口頭で伝えてほしい。

【青山恭造会長】

次に「No.2 五智公園の整備、有効活用支援事業」についてはどうか。

【田村委員】

特記事項には「危険作業を伴う作業が含まれるので、十分注意して作業を行ってほしい」と記載されているが、その文言を口頭でお伝えすれば良いのではないかと。

【町屋委員】

同意見である。こちらからの要望をこの場で言うべきではないと思っている。後半の部分は、口頭で伝えれば良いのではないかと。

【増田副会長】

厳守しなければならない事項のみ記載すれば良いと思う。我々の真意が伝わらないと困るので、ある程度の要望や意見は口頭で伝えていただきたい。

【青山恭造会長】

皆さん、どう思うか。

- ・協議の結果、提案者へは口頭で伝えることで同意を得る

【青山恭造会長】

- ・「No.3 直江津駅前環境美化推進事業」について、特記事項等はなく意見もないため終了とする

次に「No.4 認知症にやさしい地域づくり i n 直江津事業」についてはどうか。

【磯田委員】

No.4、5、15の特記事項について「※採択された場合：今後同様の事業を行っていく場合、より良い事業とする為の意見交換会を地域協議会とお願いしたい」と記載したのは私である。特記事項に載せなくて良いが、提案団体と地域協議会との意見交換をや

ったほうが良いのではないかと思い記載したものである。

【竹内副会長】

昨年度この事業に参加したが、内容は地域包括支援センターや福祉関係施設の紹介が多く、「認知症にやさしい地域づくり」のための事業としては勉強不足とを感じる部分があるので、意見交換するのは良いと思う。

【中澤委員】

一生懸命やっております意欲は感じるが、やり方が分かっていないと感じる。意欲を削がないように話し合いの機会を持たないといけないのではないかと思う。

【町屋委員】

話し合いの場が必要だとは思う。しかし、今、このタイミングで行うことかどうかは疑問である。

【青山恭造会長】

提案団体と地域協議会とで意見交換を行ったほうが良いというのは、全ての事業についてあてはまるのではないか。

【磯田委員】

私の意見については、今日の審査とは別に地域協議会で議論していただきたいと思う。

【町屋委員】

事業終了後、早い段階で、意見交換等を行っても良いのではないか

【田村委員】

地域協議会委員に対する各事業報告は全ての事業が終了した3月以降となっていた。そうではなく、1つの事業が終わった毎に会議を設けるのはどうか。皆さんお忙しいので文書で報告してもらっても良いと思っている。

【増田副会長】

1つの団体のみを呼んで会議を行うと聴聞されているようになりかねないので、注意が必要である。審査のときに出ている意見は、しっかり伝えてもらうことで解決できると思う。地域活動支援事業の相談会という形であればお互い気軽に話ができるのではないか。

今年度で、地域協議会委員の任期が最後なので、必要な場はきちんと設け、引き継ぎたいと思っている。

【竹内副会長】

確認だが、実績報告書の事業評価がA・B・Cとあるが、自分達が良いと思えば「A」になるのか。

【滝澤センター長】

そうである。

【青山恭造会長】

提案者から「地域協議会と相談したい、話をしたい」というのであれば断る理由はないが、こちらから呼ぶことは、いかがかと思う。

では次に「No.5 『米作り体験』事業」についてはどうか。

【増田副会長】

継続事業だが、再三出ている意見があることを口頭で伝えていただきたい。

【竹内副会長】

私は、前々から口頭で伝えているので、1度くらいは「参加費を負担していただきたい」ことを記載しても良いと思っている。

【田村委員】

毎回伝えていることだが、毎回断られている。今回は、記載しても良いのではないか。

【磯田委員】

私は、参加費は必要ないと思う。

【竹内副会長】

当事業は、今までずっと口頭で伝えてきた。こういった意見があることを記載したらという話である。

【町屋委員】

米作り体験を子ども達に体験させることは無料でも良いと思っている。しかし、収穫後に振る舞いをする。その時の振る舞いを全部無料で行っているので、その分は参加費をいただいても良いのではないかと思う。そもそも、町内会事業として行ってきたイベントを地域活動支援事業の補助金を使って行うことになったので町内会の負担はなくなった。しかし、今、かたくなに参加費は取らないと言っている。町内の参加者の分は町内で負担しても良いのではないか。

【青山恭造会長】

「子どもだから無料で良い」という考え方と「大人は参加費を取る」という考え方も

ある。「参加費を徴収しない」という話になっているから論点が合わなくなる。その辺の論点を分けて記入してもらえれば、納得できるのではないか。

子どもに米作り体験をさせるのは無料で良いと思っている。

【町屋委員】

米作りを体験させることに問題はない。だが、振る舞いはどうかという話である。

【田村委員】

米作りは、田植えから刈取りまではボランティアである。今まで、町内会事業だったものが地域事業となり他町内からも人が来るようになり枠が広がった。そこで振る舞いをするのに参加費無料というのはどうかと思う。

【小林委員】

子ども達も田植えから稲刈りまで働いている。その労力に対してのご褒美で、「みんなで収穫物を食べましょう」ということで十分ではないか。何故、参加費を取らなければならないか疑問である。

【久保田委員】

私も無料で良いと思う。あくまで、体験としてやっているのだから必要ないと思う。

【滝澤センター長】

事業自体は採択になっているので地域協議会で参加費を徴収しなければ認めないという意見が多いのであれば、減額して採択し、飲食については自主財源で対応してもらおうという方法もある。

【青山恭造会長】

今の話に対して、意見はないか。

【中澤委員】

当事業については採択されているので、そのままで良いのではないか。

【町屋委員】

来年度以降、飲食費の内訳等を全て提出していただきたいと思っている。

【丸山委員】

子ども達から田植えや稲刈りを体験してもらい、収穫したものを食べたということまでが事業であり、子ども達が喜んでくれればそれで良いのではないか。

【町屋委員】

収穫したものを振る舞う事業は別で行っていただきたいと思っている。

【増田副会長】

事業の全てを補助金で賄うのではなく、一部を町内会費で賄っていただきたいということを提案者へ伝えていただければ、それで良いのではないかと。

【青山恭造会長】

では、提案者へ子どもの分は無料でも良いが、大人の分は有料で実施できないか、という意見が出ているということを経理局から伝えていただきたい。

- ・「No.6 鉄道町『直江津』発信事業」について特記事項等はなく意見もないため終了とする

次に「No.7 直江津写真フェア事業」についてはどうか。

【田村委員】

賞品を出すことに対しては納得できないため、意見があったことだけ伝えていただきたい。

【青山恭造会長】

次に「No.8 第3回ビーチスポーツフェスティバル in 直江津事業」についてはどうか。

【田村委員】

保険はどうなったか。

【小池係長】

提案者からの回答待ちの状態である。今回の会議に間に合わず申し訳ない。

【増田副会長】

地域活動支援事業は委託事業ではなく自主事業なので、保険金額の大小をチェックする必要はない。こういった懸念があるので気を付けてやるように伝えれば済むことである。

【青山恭造会長】

- ・No.9からNo.14までは、特記事項等はなく意見もないため終了とする

次に「No.15 寒ブリ祭り事業」についてはどうか。

【磯田委員】

仕入と販売価格の件は、質問票にも出ており回答をいただいているので文書で伝えなくても良いのではないかと。

【増田副会長】

一部で回答がすれ違っている。昨年もかなり問題になり文書でお伝えしたと思う。昨年伝えているので、今年も必要なのではないか。事務局からは、採択にはなっているが、不採択の数も多かったことも踏まえ、相談に乗るような形で伝えていただき、不採択になる可能性もあることも伝えてほしい。

【青山恭造会長】

特記事項の「ブリの販売に関して仕入れ額と販売額を近づけるよう努力を継続してください」という文言を特記事項として付けるか付けないかを挙手で決めたいと思う。

- ・協議の結果、特記事項に記載することで委員から同意を得る

次に「No.16 上杉謙信公の城下町 文豪の町直江津にぎわい事業」についてはどうか。

【増田副会長】

不採択の理由は、ほとんどが一里塚のことである。しかし、もともとは歴史講演会のことを提案しているものである。不採択理由として、一里塚のことだけでなく、講演内容の不透明さも理由の一つであることも伝えてほしい。

【町屋委員】

確証が示されれば、一里塚を建てることは可能なのか。

【磯田委員】

記載方法によっては、提案書の体裁を整えれば採択されると思われても困る。実は、根本のところの議論が深まっていないように思う。

【久保田委員】

不採択理由として資料に記載されている文言のままで良いと思っている。私は、実施すること自体は歴史発見で良いと思うが、事業名と内容の相違を感じる。一里塚の位置が本町7丁目の位置を起点として測るとずれており、確証がない。

【町屋委員】

講演会を行うという提案もあるが、「上杉謙信公の城下町直江津」について講演を行い、講師の中には直江津栄町総代の人が行うということを回答でいただいている。栄町の総代は青年会長だが、青年会長から皆さんが納得するような講演をしていただけるのか、何故、青年会長にお願いするのかということも疑問に感じている。

【増田副会長】

一里塚について論議されているが、文献で証明された場合、採択になるというわけで

はない。一里塚は何のためにあり、どういう効果があるのかという質問をしているが、きちんとした回答をいただけていない。きちんとした回答をいただければ厳しいと思っている。

【滝澤センター長】

不採択理由については、本日委員から出された意見を元に事務局で文言を整理し、会長、副会長に確認していただく。

【青山恭造会長】

以上で協議事項について終了とする。

次に今後の予定当について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

採択審議の結果、採択額 7 3 6 万 7, 0 0 0 円となり、残額が 2 3 3 万 3, 0 0 0 円となった。追加募集の実施について協議をお願いする。

【青山恭造会長】

- ・追加募集を行うことで委員から同意を得る
では、追加募集の期間について再度事務局へ説明を求める

【小池係長】

- ・ 7 月 1 5 日号の広報上越に併せて周知したい
- ・ 募集期間の事務局案： 7 月 2 5 日（木）から 8 月 9 日（金）まで

【青山恭造会長】

- ・ 協議の結果、募集期間は事務局案どおりとすることで委員から同意を得る
次に「その他」について再度事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・ 次回協議会： 7 月 1 6 日（火）午後 6 時から

【青山恭造会長】

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。